

第49回 土岐市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和7年3月26日（水）10：00～11：30

場所：土岐市役所・3階大会議室

（参加者）

※敬称略

委員	磯部 友彦	林 世紀（代理）	中島 喜久夫（代理）
	水野 礼二（代理）	稲垣 健児	澤田 利幸
	三輪 やよい	加藤 千恵子	小栗 辰彦
	下平 真一郎（代理）	二村 光太朗（代理）	田中 寿樹（代理）
	亀山 鉄也	平田 宏保	水野 哲男
	渡邊 豪	鷺見 直人	正村 彰浩
	熊崎 直美	加藤 剛	加藤 貴史
事務局	籠橋 昭範	古田 貴祐	久木 裕介

※ 藤田 明博、塚本 省二、川合 雅乃、坂崎 陽祐 欠席

■議長選出

- ・磯部副会長を議長に選出

■協議事項

- （1）土岐市地域公共交通計画の改正について

（事務局）

- ・資料1について説明

〈意見・質問〉

（渡辺委員）

- ・デマンド交通について計画に記載はないか。

（事務局）

- ・既に実施しているものは記載していない。

（磯部委員）

・「のってこ」の記載があるからデマンド交通は記載しないということか。計画の整合性の観点から、大きくくりとして「のってこ」の一部だと位置づけている、ということにした方が良い。

（事務局）

- ・承知した。

（加藤委員）

- ・ 2月から開始されたデマンド交通の利用は、その後どの程度か。

(事務局)

- ・ 利用がない状況である。

(磯部委員)

- ・ ロードマップ中に新病院へのアクセス対応と自動運転の実証実験を分けて記載したほうが良い。

(事務局)

- ・ 新病院開設にあたり既存の路線を見直すという取り組みと取り組みの二つを一緒に記載している。二段で記載すべきだったので修正する。

(磯部委員)

- ・ 土岐市・瑞浪市の市民にとって新病院へのアクセスは大きな関心事であるため、市民への理解のためにも分けて記載すべき。

(林委員)

- ・ 地域公共交通活性化協議会委員は令和4年時点でのものか。

(事務局)

- ・ ご認識のとおり。

(磯部委員)

- ・ 令和4年3月時点の委員であるという記載があった方が良い。

(事務局)

- ・ 修正する。

- ・ 承認

(2) 令和7年度予算(案)及び事業計画(案)について

(事務局)

- ・ 資料2について説明

〈意見・質問〉

(二村委員)

- ・ 事業計画は、市としての事業と協議会としての事業が混在している。書き方を修正すべきではないか。

(事務局)

- ・ わかりやすい文言に整理する。

(加藤委員)

- ・多治見市や恵那市のような高齢者への公共交通への手厚い補助を検討してほしい。

(事務局)

- ・ご意見を頂いたということで、皆様に乘っていただけるよう検討する。

(澤田委員)

- ・予算案中委託費について、具体的な内容や金額の根拠を示してほしい。

(事務局)

・大幅な公共交通計画の改正をするにあたり、調査や利用者や運行事業者等へのヒアリングなどを行う。また駄知町のような地域交通を他町に展開できるかなどの検討等も行う。金額については、コンサルからの参考見積をもらったものが根拠だが、来年度プロポーザルを行う予定なので、金額の変動はありえる。内訳としては専門職員への報酬の稼働日数の積み上げ等で決まっているので、あくまでこの金額は見込みとなっている。

(水野委員)

- ・曾木町での交通検討は7年度も行うか。他の地域でも行うか。

(事務局)

・具体的には決まっていないが曾木町では支援を続ける予定。他町からは現状では要望等の声があがっていない。声があれば支援していきたい。

(磯部委員)

- ・事業計画の書きぶりはどのようになりそうか。

(事務局)

・上二つは協議会事務、三つ目以降は協議会で協議報告を行う事務になるので、そのように書きぶりを修正する。

- ・承認

■報告事項

- ・令和6年度公共交通利用者数と協議会事業報告

(事務局)

- ・資料3について説明

〈意見・質問〉

(二村委員)

- ・高校通学バスパップや曾木町の交通検討は協議会としての事務であるため、事業計画案

のそれらの事項は協議会事項としてまとめるべきである。

(事務局)

- ・修正する。

(磯部委員)

- ・「のってこ」の1便あたりの利用人数は、実際に稼働している便に何人乗ったのかという数値を知りたい。

(事務局)

- ・そのように修正する。

(林委員)

- ・デマンド交通の利用がない理由については判明しているか。

(事務局)

- ・理由については今後理由の分析に取り掛かる。

(渡辺委員)

- ・市民バス運賃が200円に値上がりするが、今後利用者数がどう変化していくか予想はあるか。

(事務局)

- ・他市に比べて遜色ない値段設定であり、必要だから乗っていただいているという認識のため、利用者数が変化することはないだろうと予想している。

(磯部委員)

- ・今後の利用者数を追跡する必要がある。

以上